山口県教職員団体連合会 情熱・英知・団結 第67回 定期大会 開催!

子供に夢を　職務に誇りを

県教連情報

発行
山口県教職員団体連合会
代表者　島村　暢之
編集人　田中　元晴
山口市大手町教育会館内
電話 (083) 922-2049番
FAX (083) 921-0907番
E-mail:
kyoren@orange.ocn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkyouren.com

資質向上のための研修活動の充実を　子供と向き合える教育環境の整備を　義務教育費国庫負担制度の確立を　職務に見合った給与制度の確立を

質の高い教育の推進のために

心が変われば態度が変わる
態度が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる
人格が変われば運命が変わる
運命が変われば心が変わる

定期大会で挨拶する島村委員長

県教連の歴史

山口県教職員団体連合会は、「昭和28年の「山口日記問題」等の教育現場の混乱を目の当たりにした諸先輩方が、「山口県教育の正常化」を求め結成した教職員団体です。以来、教育専門職としての誇りを胸に活動し、歴史を積み重ねてきました。その活動の正しさが多くの方々に認められ、県下最大の教職員団体へと成長させる原動力となりました。

給与・勤務条件の改善

県教連結成以来、県教連活動等で改善された給与・勤務条件は多岐に亘ります。平成からの29年の間にも、延べ128の項目について改善がなされてきました。一部を紹介しますと、平成３年４月１日に新設された「妊娠者の体育代替制度」は、当初「１校に妊娠者３人以上の重複があった場合に１名配置」でしたが、21年間の交渉を経て、「14学級以下の学校に、妊娠者１名から代替を配置」となりました。この例に漏れることなく、給与・勤務条件の改善は、一朝一夕にもたらされたものではありません。

真剣な表情で話を聞く代議員

今後の県教連

平成29年３月31日に、次期学習指導要領が告示されました。今後、移行期間中に様々な施策が現場に降りてくることが予想されます。しかし、４月28日に発表された「教員の勤務実態調査の速報値」でも明らかなように、現場はすでに限界を超えています。しかし、このような時代であっても、これからも、教育が人格の完成を目指すものであるからこそ、山口県教職員団体連合会会員は、教育専門職として、「子供に夢を　職務に誇りを」という思いを強く心にもち、活動し続けていかなければなりません。そのために、県教連は、現場の声を行政に届け、現場の多忙な状況を解消するべく全力で取り組んで参ります。

～島村委員長　挨拶より抜粋～

組織拡大に向けて

という言葉があります。現在の山口県教育は、諸先輩方の今のままではいけないという未来の山口県教育を思う心、そしてそれを継承してきたその時代時代の会員の強い心・意思が作り上げてきたといっても過言ではありません。未加入者や若手教職員には、是非このことを知っていただきたいと思います。会員の皆様には、これまでの県教連活動の正しさや取組を未加入者に伝えるという心を更に強くし、組織拡大に御協力いただきたいと思います。

平成29年度 組織運営（要旨）

今年度も県教連は、組織の拡大を最重要課題として、運動を展開していきます。組織を拡大していくためには、会員全員が主体的な意志をもって活動していくことが大切です。

そこで、今年度は、活動目標を「会員全員で、県教連の未来をつくる～県教連の未来のために、一人１活動～」としました。県教連の未来をつくっていくために、会員全員が自分に何ができるかを考え、具体的に活動に移すことが大切です。「県教連に入ってよかった。」と同僚に伝える、研修会のことを未加入者に紹介する等、何気ない日頃の１活動に意味があります。会員全員の１活動を集めて、大きな成果へと繋げていきましょう。

平成29年度 県教連活動目標決定

会員全員で県教連の未来をつくる

～県教連の未来のために 一人１活動～

日頃の何気ないあなたのひと声が県教連の未来をつくります！

県教連は、結成以来の理念「情熱・英知・団結」のもと、「子供に夢を　職務に誇りを」というスローガンを掲げ、活動して参りました。会員全員が理念やスローガン、活動目標を理解し、一丸となって活動を展開していくことが、組織の拡大、発展には不可欠です。教育専門職としての誇りを胸に、組織拡大に向けた具体的な活動、現場の声を行政に伝える交渉活動、魅力ある研修会の実施、スケールメリットを生かした福利厚生事業の利用等の全ての活動に、会員全員で県教連の未来をつくるために取り組んでいきましょう。

なお、今年度の運動方針（Ⅰ）組織を拡大する運動（Ⅱ）教育環境・生活環境の整備をめざす運動（Ⅲ）資質向上のための研修の充実をめざす運動について、県教連情報２ページより要旨を掲載しています。是非御覧ください。

会員の皆様へ　県教連会員の不祥事に係る声明

県教連の会員、再任用会員、賛助会員、準会員の皆様におかれましては、「子供に夢を　職務に誇りを」という理念のもと、山口県教育、そして子供の未来のために、日々職務を遂行されていることに感謝申し上げます。また、立ち続けに起こった県教連会員による不祥事を受け、信頼回復に向けた活動を展開してくださっていること、重ねてお礼申し上げます。

広島県教連会員である周南市の教員が、県内において県迷惑防止条例違反の疑いで逮捕されたことが実名で報道された。これを重く受け止め、去る５月28日に県教連Webページ上に緊急の声明を発表させていただきましたが、今一度声明を掲載させていただきます。

私たち教職員は、全体の奉仕者として県民の皆様の負託に応えるべく、子供たちの未来をより豊かなものにするための教育を推進していくことが使命です。その使命を果たすべく、職務や研修に取り組んでいる中、このような不祥事が起きてしまったことは大変遺憾であり、県民の皆様に多大なる御迷惑、御心配をお掛けしましたこと、県教連会員を代表して深くお詫び申し上げます。

不祥事を起こした教員は今、何を思っているのでしょうか。心に傷を負わせているのでしょうか。心に傷を負わせてしまった子供たちのこと、或いはその傷を癒すため、保護者・地域の信頼を回復するために全力で職務を遂行している同僚のことでしょうか。昨今「自己責任」という言葉が多くの場面で使われるようになりました。この度逮捕された教員に待ち受ける社会的な制裁は、自分の行動が招いた結果として「自己責任」と言うことができます。しかしながら、教育専門職として日々子供たちの前に立っている私たち教職員は、自分の行動が招く結果が「自己責任」の範疇を大きく超え、子供や保護者、家族、同僚、教職に就く全ての人々等に甚大な影響を与えるということを強く自覚し、不祥事の連鎖を断ち切らなければなりません。

保護者、地域、そして子供からの信頼を回復するためには、私たち県教連会員が初心に立ち返り、子供に夢を与えるために、職務に誇りをもって勤務する他ありません。このことを心に刻み、今後も子供第一とする教育の推進をお願いいたします。

山口県教職員団体連合会
委員長　島村　暢之